

令和6年度第1回 津駅東口周辺まちづくり懇話会

開催日時 令和6年10月1日（火）午後3時00分～
開催場所 アスト津4階 アストホール
出席者 【津駅前通り商店街振興組合】小野欽市
【津駅前ストリート倶楽部】青山春樹
【株式会社百五銀行】山口喜正
【三交不動産株式会社】猿木大介
【津駅前都市開発株式会社】荒木忠徳
【ドーマーイン津】森田士郎
【名古屋ステーション開発株式会社】竹内卓
【南立誠地区自治会連合会】井土三喜徳
【栄町3丁目北自治会】笠間政憲
【栄町3丁目南自治会】東郷信康
【羽所町第1自治会】谷口文雄
事務局 津市役所 建設部 建設政策課
建設政策・津駅周辺道路空間整備担当
公開又は非公開 公開
傍聴者 5名

議事次第

1. 規約の変更
2. 令和6年度の取組
3. その他

議事概要

1. 規約の変更

事務局より、会議設置規約のうち会議の庶務担当を建設部事業調整室から同部建設政策課に変更することを報告

2. 令和6年度の取組

事務局より令和6年度の取組について説明

委員からいただいた主な意見は以下のとおり

- 大川学園前から大原学園までの歩道の幅が狭く、通勤通学時間帯は歩行者が多く、通行しづらいので拡幅すべきである。特に雨天時は傘を拡げて歩くことも出来ない状態である。

(事務局回答)

津駅西口駅前広場の配置計画案・整備イメージに対する意見募集の中でも歩道を拡幅し歩行者優先の駅前づくりをして欲しいという意見もあった。今年度、官民連携基盤整備推進調査を用いてさらに具体化を進めている。

- 津駅と大川学園の間の横断歩道のすぐ近くで乗降を行う一般送迎車両があり、危険である。

- 津駅東西自由通路について、鉄道を跨ぐだけではなく護国神社近くまで伸ばして整備してはどうか。

(事務局回答)

津駅西口駅前広場の配置計画案・整備イメージに対する意見募集の中でも駅前広場空間の立体化についての意見も出ている。今年度、官民連携基盤整備推進調査でさらに具体化を進めて行く。

- 津駅西口駅前広場のタクシー乗り場は、駅前広場の区域外に配置してはどうか。

(事務局回答)

駅前広場の立体的な活用を行うのであれば変更の余地があると考える。

- 資料には津駅周辺の各種バス（高速バス、観光バス、企業送迎バス、スクールバス等）乗降場の状況が載っているが、東口の県道津停車場線の道路上にある各種バス乗降場は許可制なのか。

(事務局回答)

各種バスの持ち主が任意で乗降場所を決めている。バスの乗降のための停車であれば駐車に当たらないため、道路交通法違反には該当せず、許可は必要ない。

- 県道津停車場線について、ほこみち制度による歩行空間の拡張整備を行う場合、狭くなった車道上で各種バスが乗降を行うことにより、一般車両にとって不便になったり、危険が生じたりすることになると、

地元としては困るので、各種バス乗降場はバスタに集約すべきではないか。

（事務局回答）

各種バス乗降場のバスタへの集約について検討を進める。

- 最近、県道津停車場線にキッチンカーが出始めている。そのことに伴い、夕方以降の人の流れが変わり、賑わいが生まれつつある。ほこみちによる整備の参考としてほしい。

- 8月29日の大雨の際に、国道23号駅前交差点付近や、島崎町周辺は20～30センチほど冠水した。高潮、津波だけではなく、豪雨からの避難についても考えていく必要があり、立体的な避難のため、津駅東口にペデストリアンデッキを整備するなど雨水対策が必要である。

（事務局回答）

津駅周辺の雨水は桜橋ポンプ場へ排水している。今回の雨は時間雨量70mm超という津市の雨水計画55mmを越える雨が降ったことにより冠水する箇所が出た。また、8/29日まで晴れの日が続き、排水溝に落ち葉などのごみが溜まり、それらが一度に流れたため集水枥が詰まってしまった所もあった。今後ポンプ場を所管する上下水道局とも協議を行い雨水対策を行っていききたい。

- CHUMの更新やバスタとの連携といったことも検討していないといけないのではないか。

- 津駅周辺は塾が多いため夜遅くまで滞在している中高生もいる。大人だけでなく全体に目を向けて計画して欲しい。

（事務局回答）

令和6年度に東口で行った社会実験によって夕方や土日に若者のニーズがあることが分かったため、若者の利用も想定し検討を進めて行く。

- 西口のイメージは自由通路の位置に左右される。また自由通路は東口の整備に左右される。自由通路、バスタ、西口、東口とそれぞれ分けて考えるのではなく、広い視野を持って面的に考えなければいけない。今年度末に作成予定の「津駅周辺基盤整備の方向性を示すビジョン」に自由通路、バスタ、西口、東口についてどのように位置付けていくつもりなのか。

（事務局回答）

市としても津駅周辺を一体的に考える必要があると認識している。今年度は官民連携基盤整備調査費の補助金を活用し、自由通路の位置について鉄道事業者と協議しながら決定していきたい。国、県と歩調を合わせられるよう密に協議を行っており、バスタ調査は「津駅周辺基盤整備の方向性を示すビジョン」を作成することによって次の段階に進めるように国と協議を続けている。

✚ 津市のコンパクトシティ推進のために津駅には交通機能の集約を行うべきである。そのことで周辺の再開発も進むのではないかな。

✚ 令和 8 年度以降の計画についても示してもらえると、より理解が進み、議論しやすいのではないかな。

(事務局回答)

西口駅前広場は、現在の危険な状況の解消のための即効性のある整備として令和 8 年度工事着工を予定している。バスタ事業については具体的なスケジュールはお示しできない状況であり、自由通路との調整も必要であるため、なるべく早い時期にスケジュールをお示しできるよう鉄道事業者との協議を進めていく。

✚ 西口と東口の立体活用を行うのであれば、バスタや自由通路への接続を考える必要がある。

✚ 栄町公園のごみ問題への対策をしてほしい。

3. その他

津駅西口駅前広場整備に係る配置計画案・整備イメージ（Ver.2）に対する意見募集について委員に協力を依頼